



# 希望の鐘

2023・6・29 発行 文責：菅野 弘尊

## 「運動会～奇跡的な天気の下で」

校長 菅野 弘尊

今年の運動会、天気予報では雨の確率が濃厚。日付が変わった夜中も当日の朝4時過ぎにも、実際に雨が降っていました。「これ以上雨が降っているならば、グラウンドコンディションを考えると屋外は無理、少し残念だけれども体育館で行うしかないか。」と、タイムリミットは朝6時頃と考えていました。ところが、その時間には降り続いていた雨がぴたっとやんだのです。子どもたちが登校する頃、グラウンドは水たまり1つない良い状態になっていました。

風が強く気温も低かったのが少し大変でしたが、予定どおりに始まった運動会では、寒さに負けずに子どもたちが練習の成果を発揮し、熱い闘いを繰り広げてくれました。今回は観覧制限を設けずに実施することができましたので、保護者の方だけではなく地域の方や卒業生・旧職員など、合わせて百数十名の方たちに応援してもらうこともできました。寒い中、最後まで観覧と応援をいただきましたこと、そして、みなさんに見ていただけたおかげで子どもたちの速さ・パワー・やる気が倍増したことに感謝申し上げます。気になる結果ですが、白組の5年連続優勝で幕を閉じました。残念ながら紅組が頼みとした「バナナ・パワー」は、白組の「元氣玉」に及ばなかったようです。

さて、本校の校長室はグラウンドに面しています。そのため競技や踊りの練習を始めたまだぎこちないときから、練習を重ねて上手く速くなる頃まで、子どもたちの成長や変化の様子を近くで見ることができる特等席です。いつもその中で感動させられるのは、上手・下手とか速い・遅いではなく、勝ち負けにかかわらず最後まで一生懸命に走り切ろうとする子どもたちの姿です。毎回順位が同じでも大きく差がついていても、運命走ならばミッションをクリアしようとし、またはゴールまで少しでも早く着こうとして精一杯頑張っています。それは練習のときだけではなく、本番で競技が終わった後、子どもたちは賞状を受け取りに本部席に来ます。もちろん1位になれなくて悔しそうな子もいますが、私には漏れなく全員が満足げな「とてもいい顔」をしているように見えます。そんな子どもらしさ、一生懸命さに触れられること、素直に育つ子どもたちのことをとても嬉しく誇りに思っています。

終盤、全校リレーと閉会式の頃には小雨が振り出しましたが、競技に影響することなく最後まで外でやり切ることができました。終了直後には雨足が強まりましたので、奇跡的なタイミングだったのかもしれませんが。子どもたちの頑張りと先生方の日頃の行いの良さでやり遂げた運動会、今一度大きな拍手をお願いします。

今月行われた運動会を特集します。各学部の取組やお子さん達の頑張りの様子をお知らせします。当日はたくさんの御声援をありがとうございました。

## 「ひよこちゃんのお散歩」

乳幼児相談室 増田 美菜

当日は8組の親子が参加しました。トンネルをくぐって、木に咲くお菓子付きのお花を摘みます。始まる前はドキドキしてパパやママに抱っこされていたひよこちゃん達でしたが、「よーいどん！」の合図で元気いっぱいトンネルをくぐったり、お花を摘んだりして、パパやママと一緒にゴールすることができました。去年は泣いたり、抱っこしてもらったりしていたひよこちゃんも、今年は笑顔でゴールすることができ、成長を感じました。初めて参加したひよこちゃん達も初めてとは思えないくらい頑張っていました。トンネルの出口からひよこちゃんの顔を覗いて応援したり、お花を選ぶ時に一緒に選んだり、ゴールした時には一緒に喜んだり…と親子のほほえましい姿もあちこちで見られました。

たくさんの温かい御声援をありがとうございました！



## 「みんなみんな、がんばった！」

幼稚部 前川 麻依子

今年も幼稚部のお友達は練習から一生懸命がんばって各競技に取り組むことができました。うさぎ組のお友達はどの練習も初めての経験の中、本当によくがんばりました。本番ではしっかりとゴールまで走り抜くことができ、大変立派でした。ぱんだ組とらいおん組のお友達は練習期間前から取り組んできた遊技「獅子の舞」で、練習の成果をしっかりと出し切ってくれました。手足をまっすぐ伸ばし、真剣な表情でかっこいいお遊戯を披露してくれました。みんなみんな、本当によくがんばりました！運動会の最後には、御褒美のきらきらメダルをもらい、達成感で一杯の笑顔を見せてくれました。



## 「Mela!」

小学部 濱田 楓

今年の小学部の表現は、緑黄色社会の「Mera!」という曲に合わせて踊りました。振りが難しく、最初は不安そうな顔をしていましたが、休み時間や家でもたくさん練習をしました。それぞれが個人で頑張ったため、全体練習では全員で合わせることを意識した練習ができました。6年生はお手本となって下級生を引っ張り、下級生は6年生に負けないよう、一生懸命練習に取り組みました。

当日は自信をもって笑顔で楽しく踊ることができました。たくさんの温かい御声援をありがとうございました。



## 「少数精鋭中学部」

中学部 大田原 義幸

今年の中学部個人競技の短距離走では5人同時にスタート。自己ベストを目指し、自身と向き合う気迫のこもった走りを見せてくれました。団体競技(保護者競技)はおなじみとなった宅急便リレー。保護者と協力して2本の棒でダンボールの箱を運びました。走りながら風で煽られる箱を落ちないように工夫しつつ、息のあった姿が見られました。そして、中学部らしい雄々しい姿を見せてくれたエール交換。少ない人数、一人一人に任せられる部分大きい中でそれぞれがしっかりと役割を果たし、輝きを見せてくれました。

